



日本生まれの

ペア碁が もつとわかる ミニ事典



公益財団法人 日本ペア碁協会

ペア碁の面白さがここにある。

ペア碁は、男女のペア同士が
対局する日本で生まれた
国際的なマインドスポーツ。
着手は、女性→男性の順として
この一巡を正規の
ローテーションとします。
そして、対局中にパートナーとの
相談も、パートナーに
アドバイスをすることも、
身ぶりや目くばせを含めて
(投了の相談と
手番の確認以外)
一切の情報交換はできません



一人と一人の対局とは 異なる戦略が必要です



りません。そして、一局終わるまでに必ずといっていいほど、パートナーが打つ意表をついた手に戸惑ったり、感心してみたり、個人プレーでは考えられない面白さを発見できるのです。

ペア碁は対局相手の手を読むばかりではなく、自分とペアを組んだパートナーの着手の意味をも読んでいかなければなら

世界的に愛好家が増えて 国際親善につながります

多彩な分野で国際化が進むなか、ペア碁が世界的な規模になっていることで、従来の囲碁の雰囲気には華やかさが加わり、国際親善の役割を果たすことになります。

自由にペアを組んで 楽しくコミュニケーション

ペア碁が盛んになると、父



娘ペア、母息子ペア、夫婦ペア、子弟ペア、兄妹ペア、姉弟ペア、友達ペアと、いろいろなペアが作られることになりコミュニケーションがより活発になります。

棋力の向上と 指導に役立ちます

同時に3名の生徒を教えることができ、一局を通して効率的に上手の打ち筋を学習することができ、パートナーとの組み合わせを工夫することにより、通常の囲碁の場合、実力差があつてハンデが必要などころ、ペア碁ならハンデなしで指導することができます。

ペア碁を創案し、ペア碁を育てた二人

ペア碁は、

滝久雄が創案しました。

滝裕子が国内外の普及に努め、

今では世界78か国・地域で
楽しまれています。

二人のメッセージから

ペア碁の原点がわかります



滝
久雄

ペア碁創案者

- 公益財団法人 日本ペア碁協会 名誉会長・評議員
- 公益財団法人 日本ペア碁協会「ペア碁をオリンピックの正式競技にする会」代表幹事(統括)

- 文化功労者
- 平成30年度 文化庁長官表彰 受賞
- 東京科学大学 名誉博士
- 株式会社ぐるなび 取締役会長・創業者
- 株式会社NKB 取締役会長・創業者



滝
裕子

- 公益財団法人 日本ペア碁協会 筆頭副理事長
- 公益財団法人 日本ペア碁協会「ペア碁をオリンピックの正式競技にする会」代表幹事(海外担当)
- 世界ペア碁協会 副会長
- 国際囲碁連盟 理事
- 一般社団法人 全日本囲碁連合 会長
- 令和元年度 文化庁長官表彰 受彰



ペア碁の創案

滝 久雄



が国には古くから碁盤を二つ並べて複数の人が交代で打つ「連碁」がありました。連碁を女性たちが楽しむ様子を見て、この雰囲気囲碁の普及・拡大のエネルギーとして活かせるのではないだろうかと思つたことが、「ペア碁」を創案することの始まりでした。

連碁には複数の人が参加するエキシビションとしての楽しさがあります。この複数で打つ楽しみ方に勝負を競うという面白さを加えられないか。そう考えたときに、連碁では隣の人が打った手を碁盤上に自分も並べるという作業が必要となり、ゲーム中に左脳を使うことになり、勝負事としての意味合いが減じてしまいます。



の左脳の作業を省けないだろうか考えた末に生まれる右脳だけでゲームが進行できます。しかも、ペアで合計四人が打つので戦局の変化も大きくなり、パートナーの考えまで読まなくてはならないという面白さもあります。

こうして私は、ルールを定め、男女のペアが対局する「ペア碁」を1990年に発表しました。今後一層多くの人たちに親しまれることを、私はゲームの生みの親として強く願っています。

ペア碁を世界へ

滝 裕子



本生まれのペアゲームとして「ペア碁」が誕生し、1990年に最初の大会「第1回 国際囲碁アマチュア・ペアトーナメント大会（NKB杯）」が開催されたときから、日本そして海外でのペア碁の普及に取り組んできました。

これまでに、公益財団法人日本ペア碁協会、世界ペア碁協会の設立、2010年「第16回アジア競技大会」では正式種目として採用され、「ペア碁ワールドカップ2016」の開催などもあり、ペア碁ファンの裾野は大きく広がり、現在では世界の78か国・地域（2025年月時点）で楽しめるようになっていきます。



ア碁は、パートナーの棋風をよく理解し、対局中はパートナーが打った手を尊重して最大限に活かすというように、パートナーを思いやることを大切にします。しかも囲碁は言語を使わずにコミュニケーションができ、ペアを組む二人の実力を考慮することによって対等な対局が楽しめます。それらの長所から、ペア碁はグローバル社会で言葉も国境も越えてよき交流を生み、国際平和の実現にも貢献できます。そのようなペア碁の魅力を伝え、今後も世界中でより多くの人に親しまれるマインドスポーツとして育てていきたいと思っています。

世界のアマチュア・ペアが東京に集結、 「国際アマチュア・ペア碁選手権大会」

アマチュア・ペア世界一を目指して
日本と世界の国・地域からの
代表ペアが対局する競技大会が
1990年から開催されています。
会場は伝統ある民族衣装で装った
ペアたちが国際色豊かに彩ります。
そして魅力的なコーディネート
ペアには「ベストドレッシング賞」が
贈られています





2019年 民族衣装で着飾った各国・地域からの代表ペアと関係者(前夜祭)



「ベストドレッサー賞」
を審査中のコシノ
ジュンコ審査委員長
(デザイナー)



2019年「ベストドレッサー賞」審査発表ステージ



親善対局会場は、華やかな社交場の雰囲気てにぎわいます

プロ棋士ペア基選手権



2020年 奥田あや四段・村川大介十段ペア(左)と鈴木歩女流棋聖・余正麒八段ペアの決勝決勝対局。優勝は奥田・村川ペア(右写真)



2021年 二十四世本因坊秀芳による大盤解説会

ペア基ワールドカップ

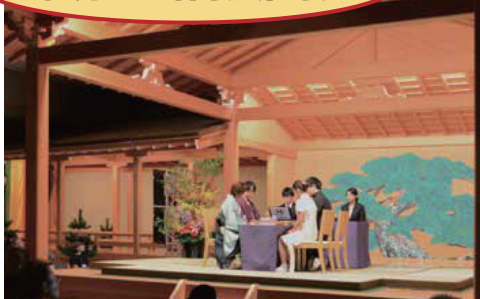


2016年 和服姿で対局する謝依旻六段・井山裕太九段ペア



2016年 優勝は於之螢五段・柯潔九段ペア(中国)。準優勝は、黒嘉嘉七段・陳詩淵九段ペア(中華台北)

世界ペア基最強位戦



2017年 決勝戦はセルリアンタワー能楽堂で行われました



2019年 崔精九段・朴廷桓九段ペア(韓国)が2018年に続き二連覇を達成、世界ペア基最強位保持ペアのタイトルを防衛しました

*棋士段位は記録当時の段位です

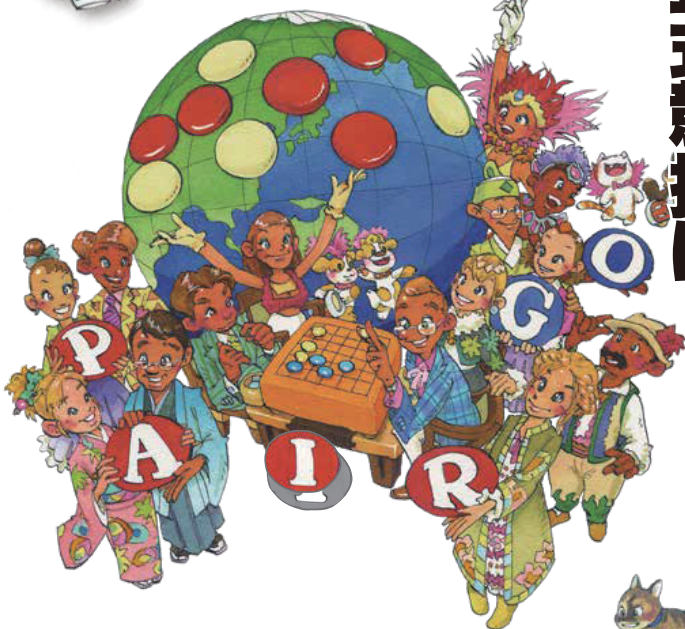
囲碁と「ペア碁」を オリンピックの正式競技に

2010年開催の
「第16回アジア競技大会」で、
ペア碁は種目として実施されました。
その後の国際マインドスポーツ
各大会でも採用され、
国内外でマインドスポーツ

一つとして認知されています。
日本ペア碁協会は、

日本棋院、関西棋院とともに
国際的に日本を代表する
唯一の団体である

一般社団法人全日本囲碁連合に
参加しています



11



公益財団法人 日本ペア碁協会